夕刊 臺灣日日新報 十一月十七日

英國と印度政廳に 帝國嚴重に抗議
非人道極まる邦人取扱

【東京發同盟】インドの在留邦人に對する取扱振りは極めて非人道的にしてこれを放任し得ぬ事態にあるので、帝國政府は去る九月中旬英國政府に對し嚴重抗議を提出したが其後日英交換船歸朝者の證言に依つて更に非人道的な事實が判明したので帝國政府は十一月七日再びスイス公使を通じ英國政府に對し又スエーデン公使を通じインド政廳にそれぞれ嚴重抗議を提出した。英印當局が抑留邦人に對し非人道的なる取扱ひを加へつつあることは交換船歸朝者の異口同音に語る所、わが當局が指摘した非人道的な取扱ひ振りとは左の如くである

一、收容所居住テントは手狹のみならず暑季にはテント内の温度が百二十度にも上り冬季には防寒の設備がない、更に雨期や風のためテントの倒れることもある

一、食物についても甚だ粗惡にして收容者中に榮養不良者が續出してゐる

一、收容所の醫療設備も不完全且つ不衞生である

一、衣料、寢具等も不完全且つ不足であつた

佛政府緊急閣議
重要國策を檢討決定

【ヴイシー十六日發同盟】ラヴァルフランス首相は十五日午前主席ペタン元帥と協議した後、閣僚會議を開き、ペタン元帥司會の下に重要國策を決定したと傳へられるが右決定内容については十五日夜中に至るまで何等發表なく

對米英關係重大發表

【リスボン十六日發同盟】パリ放送に依ればパリ駐剳大使ド・ブリノンは十六日午後の新聞記者會見でフランス政府は米英兩國政府との關係について極めて重要な發表をなす豫定であると述べた

叛逆者ダルランの全公職、軍務を剝奪
ペタン元帥、斷乎布告

【ヴイシー十六日發同盟】フランス政府は十六日夜の事態を發表した

南雲、高木兩中將に拜謁仰せつけらる
武勳の兩提督に御殊遇

【東京發同盟】赫々たる武勳を擧げて凱旋した南雲忠一、高木武雄兩海軍中將は十七日朝相次いで宮中に參内、天皇陛下には午前十時表御座所に出御、先づ南雲中將に拜謁仰せつけられ同中將は畏くも御前に參進…

現地に挺身の官民 南方現住民の感激
侍從御差遣、兒玉伯謹話

【東京發同盟】畏くも天皇陛下には今回南方占領地の民情御視察の思召しを以て戸田、久松兩侍從を差遣の旨仰せ出されたが…

大東亞戰爭一周年と佛印
日本と經濟提携强化
ドクー佛印總督語る

【ハノイ十四日發同盟】大東亞戰爭の勃發以來佛印は日本の友好的な協力者として…

政治

經濟

文化

（寫眞はドクー佛印總督）

チユニジア爭奪戰
地中海全局の大決戰

【チユーリツヒ十五日發同盟】反樞軸軍の佛領北阿進入以來…

獨伊軍チユニスに上陸
佛當局の同意を得て

【ローマ十六日發同盟】…

布哇に特別空襲警報

【ブエノスアイレス十六日發同盟】ホノルル來電＝十五日夜ハワイ全島に亙つて突如特別空襲警報が發せられ防空團員、警官隊等が一齊に召集され部署に就いた

英開戰以來の危機
船腹不足極度に深刻化

佛國家主義團體 人民黨提携
樞軸と提携、國難打開へ

米海軍欺瞞の發表
與論の動搖に狼狽して

米甲巡サ號艦長 カラガン少將戰死

佛郷軍會會長 忠誠を要請

休戰協定性格に變更なし
獨伊、佛に通告

佛大使以下を 米政府抑留

產報技術者會議
十九、二十の兩日開催

英軍マルトバ到達

人事

◇スバラシイ新發明！一本で赤・青二色自由自在の 高級二色萬年筆 ◇代金は品物を受取つてから ◇一色萬年筆の公定價より安い特價提供 三圓八拾錢 貳圓八拾錢 申込所 ロツト商會

呼吸器强化 ビタミンA・D＋ホルモン の優れた榮養强壯效果！ Aの粘膜强化……Dのカルシウム代謝促進 ホルモン（造血素）による抗菌力增强等の綜合的作用により氣管支を保護し呼吸器を强化する卓效あり…… 農林省水產試驗場創製……の 弱体改善劑 100錠入 全國藥店にあり

結核 治療の要諦…… 衰弱の根因を除くべし 血毒を溶解して尿中に去れば血沈良轉し胃腸强化して肥出す ネオドラミン 全國藥店にあり ドラミン製藥本舖

厚生省試驗所檢定 水產林叢のビタミンAD劑 ビタドール

島民赤誠の一部割き 陸海軍將兵を慰問

宣戰記念日・慰問金贈呈

厚生事業大會 竹南街で開かる

神饌用に新米 臺北市民に配給

結核豫防陣に輝く凱歌

豫防は勿論、輕症者は完全治癒 苦悶の十五年・見事結實

世界的 新療法 肺結核

翼壯團府縣旗授與 けふ團本部で嚴肅に行はる

安藤團長訓示

前田大將らの合同葬 二十日築地本願寺で執行

集立つた鍬の尖兵 けふ拓南戰士第一同生修了

細菌學

國民貯蓄懇談會

臺北州下學校教練査閲 けふ二中を皮切りに開始

勤しむ遺家族を激勵

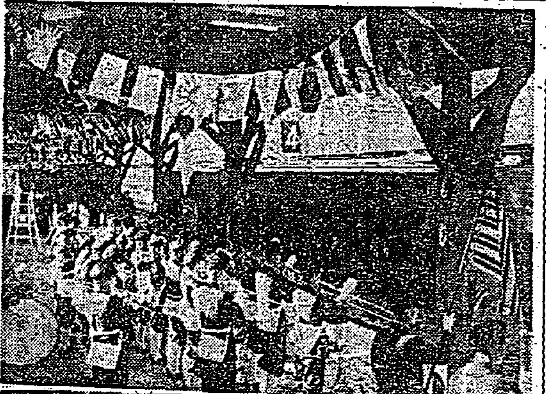
本庄軍事保護院總裁授産場視察

臺北市民間の交通道德缺如

基隆市區長打合會

基隆市青年團査閲

關門鐵道トンネル開通



寫眞上は門鐵奏樂團に迎へられて特急「富士」門司新驛着、下は特急「富士」九州に初の御目見得

お茶と活花で傷病兵を慰問

譽れの志願兵目差し 基隆市、郡下で青年を訓練

南方派遣自動車運轉手要員募集

羊羹買に妙案 兼官申込制實施

家庭用木炭の配給開始

故田總督十三年忌

"歌と舞踊會"に白衣の勇士招待

阿片密輸入者を檢擧

行列買の一掃へ

今夜の放送番組

貧血性なき大豪製劑 盜汗・結核に スクナ(マルホ) (文獻贈呈) マルホ商店

三國志 (908)

(赤壁の巻)

吉川英治 作
矢野橋村 畫

一 敗傷折 (三)

心臓 喘息・治療に
心力

長田幹彥著 現代小說 砲金の指輪 B6版 三三〇頁 定價一圓八十錢 奥川書房

痛み 疲れに
たゞ患部に擦り込むだけで炎症を和らげ…痛みや疲れを緩解して翌日の活動に對する元氣を蓄積します。
サロメチール
神經痛 リウマチス 腰痛

結核 病原を去り 榮養を増進す
疲れない丈夫な體に
ヨード含有量 昆布の一五〇〇倍 大豆のビタミンAD配劑
スオスチー
肺結核・神經衰弱 肋膜炎・榮養不良 腺病質・常習頭痛

保健強壯劑
財團法人理化學研究所製品
特に弱いお子さんに好適
あまいビタミンAD
糖衣 理研ビタミン球

臺灣總督府 官報
月極購讀 一ケ月 四拾五錢
外ニ月別保存用官報 一冊 金九十錢
發賣所 臺灣日日新報社
島內各臺日取次店

農作物の虫退治
殺虫劑
デリス根・樟腦油・除虫菊の素晴しい綜合効果!
今津化學研究所

イマヅ
蠅取粉 慰問袋に ぜひ一罐!
家庭害虫の全滅に 家畜家禽の害虫に

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

思想戰完勝の根本策
閣議決定、情報機能强化

府科學技術審議會
廿六日頃に初會合
けふ幹事會 提出案件を協議

憲兵補充制度を改正
けふ公布實施 廣く適任者を選拔

閣議正式決定

經濟新體制確立の中核
懸案の權限委讓解決
統制會に千金の重み

國民勤勞奉公法
滿洲國で公布

ドクー總督と芳澤大使會談

支那方面艦隊司令長官
吉田善吾海軍大將着任

吉田司令長官宣言

企畫院總裁談

ド・ゴール一派不滿
ダルラン新政權に反對

情報局發表

チュニジア戰を契機
地中海海戰愈よ火蓋

聯合軍の補給至難
樞軸軍は勝利を確信

ジブラルタル 艦船出入禁止

ペタン首席を支持
佛印再び態度闡明

東部戰線停止狀態
モズドク附近では激戰

チリー憤激

人事

鼻の悪い方に
ビノサン療法
◎新案!手輕に出來て効き目の早い
代理店

聖紀書房・新刊
東京神田神保町一丁目
石原莞爾著 國防政治論（增刷出來!）B六判上製 三二四頁 定價二・〇〇 〒・一〇
ジョン・ミュアー著 戸伏太兵譯 アラスカ探檢記（最新刊）B六判上製 四〇八頁 定價二・五〇 〒・一〇
西田正秋著 顏の形態美（重版出來!）B六判上製 三一〇頁 定價二・五〇 〒・一〇

新刊
論集 志士詩文集 影山正治著 價二・五〇 〒一五
小說 湖南の兵士 大島從文著 沈覺譯 價二・〇〇 〒一五
限定出版二名著
文學博士 中村孝也著 北畠顯家卿（十一月下旬發賣）價二・五〇 〒一五
藝術院會員 荒木十畝著 東洋畫論（十二月上旬發賣）價五・八〇 〒二〇
近刊
小說 濱木綿の歌 小高根二郎著 價二・〇〇 〒一五
感想 かの子の記 岡本一平著 價二・三〇 〒一五
東京市神田區一ツ橋二の五 小學館 振替口座

東京外語教授 宮越健太郎著 支那語重要單語集（新刊）
台北高商教授 香坂順一著 新編支那語發音辭典（新刊）
小原臣正著 自修獨逸語
香坂順一著 支那語文法詳解
入江啓四郎著 支那新聞の讀み方
タイムス出版社

最新式講座 新期開講
長距離通信教授 帝國綜合學院最新式講座開始 自宅修學最短期間資格獲得への確實指導
機械科
判任文官養成科
規則及入學案內書進呈
東京市下谷區上野桜木町三九 帝國綜合學院

山本實彥著 新刊
巨いなる歩み
改造社

社説

官吏の心構へと法の運用

事勿れ主義に墮する勿れ

一

二

三

大東亞建設に對應

共榮圏の產業問題討議

東亞經濟懇談會

第一部會（農業及び工鑛業）

第二部會（金融及び交易）

南方協力と工業化

增田、加藤の兩臺灣代表が强調

增稅問題は白紙

貯蓄の增强へ　中嶋財務局長談

重輕勞區分を改正

食糧局で各州廳への米穀割當を決定

長期戰必勝經濟政策（八）

貯蓄增へ徹底せよ

共榮圏は財政的に協力

賀屋藏相

臺灣鐵工業統制會

愈よ廿七日發會式擧行

完勝へ鐵道人の覺悟强調

きのふ局鐵現業長主任會議開催

日本產業經濟史に一線

官廳權限委讓內容

統制會實力發揮の必要

出勤競走の表彰式

南方農業資源開發

督府で熱地農業技術錬成所を設置

化學工業會社設立計畫

臺拓、大日本麥酒と提携

臺糖役員決定

熱管理優良工場

瓦斯の消費

徹底的な節約へ

商況（十七日）

戻り賣り人氣濃化

株式

兜町前場況

兜町後場況

東京長期後場

東京短期後場

綠茶界の最高基準品。

高雅な香味と明快な色調

明治の茶

たんせき
ぜんそく
百日咳に

中毒性なき咳止め

麻薬と異り、絕對に副作用なく、老人幼兒にも安全、而も藥效優れ咳と發作を鎭めたんを去れ易く心臟を守り、呼吸を樂にする新劑です

ベルマシン

新發賣

最新除倦覺醒劑

ヒロポン錠

「製法特許」

大日本製藥株式會社

結核

抗病力增强

体防御抗病力獲得の事實が自覺的に認められる殊に向寒期の感冒罹患を低減して重症への移行を未然に阻止する

從來のカルシウム療法を進歩せしめて組織的に虛弱体質を改善强化せしめる新劑として好評！

ヤトコニン

宣戰一周年記念行事へ
〝翼壯〟全面的に協力

日婦宜蘭市支會結成打合會

谷本中將の遺骨自邸へ

乳兒用綿ネル希望者に配給

宣戰一周年記念行事へ "翼壯"全面的に協力
全國翼壯團長會議で決る

去私奉公に邁進せん
安藤翼賛壯年團長訓示

陣容を整へるに至つた

前線と銃後

故陸軍軍屬宮良哲君弔ふ告別式執行

國民運動の大展開へ
翼壯・中央地方渾然一體協力せよ

首相挨拶要旨

日婦宜蘭市支會結成打合會

谷本中將の遺骨自邸へ

擧島・軍援へ一層拍車
本庄軍事保護院總裁・軍援施設を視察

乳兒用綿ネル希望者に配給

必勝不敗 農村體制確立へ
增産部落樹立徹底運動展開

實施要項

翼賛運動の實踐誓ふ
十二月八日翼壯で曉天動員

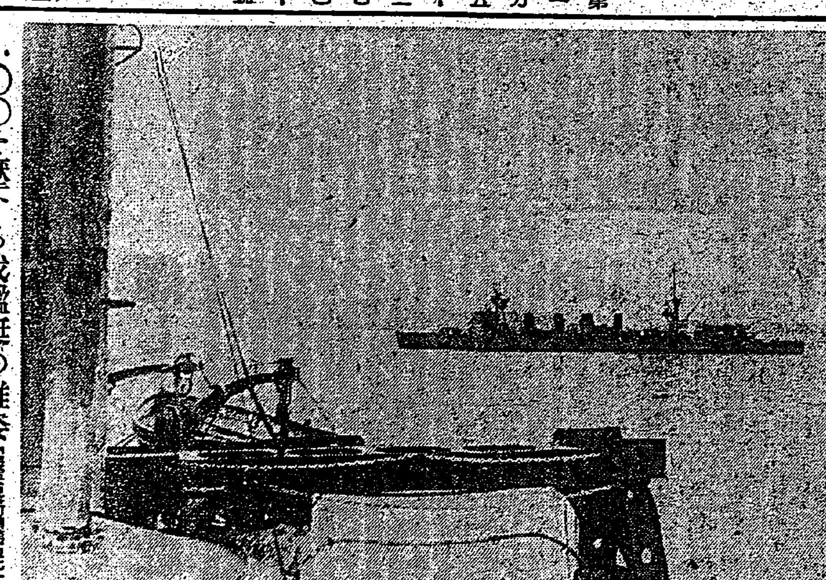
山の同胞の忠誠に感激
本庄總裁きのふウライ社見學

軍國の母を表彰
全國十八氏に表彰狀

全島的に死藏貨回收
臺北市奉壯團全島に慫慂

南方事情普及講演會

義勇隊へ愛兒三人を送る
軍國の母大山さん



○○を壓する我艦艇の雄姿【海軍省許可濟第四九七一】

大東亞戰爭一周年
軍事、財政の基礎確立
暴虐英の桎梏脫し白象立上る

泰國

自力

南方

傷痍軍人を護りませう
島民よ見習へ一樞軸國人の美擧

青少年向きの當選歌決る

職域を惡用不正利得
決戰生活を裏切る不屆者

實踐

言動

命令

全島

マラリア防遏に大童

蕃薩音樂協會で記念音樂會開催

第一放送

第二放送

今日の映畫

國債債券株式
投資は案ずるより大東亞へ!　賣買・金融
富士屋債券株式會社

第十一回決算　臺灣化學工業株式會社

印鑑紛失公告

南方講演會

双葉莊　逸見岩子

石堂　洋裁　洋裁　菓子　支那　芳雄　時計　宿直　食堂　女中　主婦　女給　求婦　結婚　蜜柑　店舗　賣電話あります　增米　古書

齒科　澁谷齒科醫院　臺北市新起町一ノ二　電話二八八九番

齒科　合志齒科醫院　臺北市大安十二甲四一七(昭和町市場前)　合志信雄

齒科　大原齒科醫院　臺北市乾町　電話六八六番

齒科　鎌田齒科醫院　臺北市兒玉町三ノ八　電話九三二〇番　鎌田政直

齒科　小林齒科醫院　京町　電話一八八二・九四三番　小林靜夫

內科　小兒科　呼吸器科　淺井病院　臺北市末廣町　電話二四〇二番

內科　小兒科　樋詰醫院　臺北市本町二丁目三番地　電話二五四七番

外科　泌尿器科　福島外科醫院　電話六〇番　福島有用

胡耳鼻咽喉科醫院　臺北市太平町三ノ九

ホプライシキ
新人ノ愛品　學生ノ愛品
日本ホプラ株式會社

冷症に神經痛に　家庭温泉に　ミネラールで
代理店　東京堂藥局
代理店　長谷川長衛商店

勞務手帳　寫眞　優先撮影　サワイ

京染　印畫　コンマーシャルペーパー　ラヂオ　レコード・ラヂオ　引越　新型　電話　冷藏　斷食　刀劍　ミシン

會葬御禮　笹盛治平

貴木　孔明

父直矢儀滿洲國新京出張中病氣ノ爲同地病院ニ入院加療中ノ處藥石效ナク十一月十五日午前十一時死去仕候生前ノ御厚誼ヲ深謝シ茲ニ謹告仕候也
昭和十七年十一月十八日
男　鳴海忠
親戚　岡野初太郎　田村作太郎

大自然に挑む六年
いま見る輝かしき曙光
逞し！風美社開拓史

【新竹電話】ベールバツク続くとこうの〝大河〟そのままの山の部落が新竹州竹東郡にある、風美、鹿場を中心とする鹿場方面区第一部落の山地がそれである、同方面区には大河、石坂、鹿場、鹿湖、風美、大南の各部落があり元来はサイセット族が主に居住してゐたのであるが、大湖郡警察所附近に住むタイヤルのシヤカロー族が隆盛する土地も少く非常に困窮してゐたので、昭和十一年十一月二十日風美田を中心に移住せしめここにサイセット、タイヤル両族が仲よく大自然と取り組んでの開拓に精進することになつたもので、[illegible]と激浪と洪水に晒されて正に[illegible]荒々の歳月を送つた、ヤトウ[illegible]の島一夜にして水田を流された[illegible]り除に十三、十四両年にわたる水[illegible]は全部民を[illegible]のドン底につき落した、[illegible]不良から来る病気もあとを絶たずこの部落は[illegible]を捨てねばならぬものであらうとさへ[illegible]され、しかも知事、[illegible]代にわたつてこの山は[illegible]く建設された新竹州の山の[illegible]であつたのだ……だが[illegible]の指導、[illegible]以後の[illegible]としてわき起つた山の人々の[illegible]に[illegible]く国家への[illegible]であるとの[illegible]は更に一層大自然との[illegible]なるものとし、殊に風美社[illegible]中、[illegible]、水稲[illegible]天人が正式の[illegible]を生かし[illegible]を通しとせず[illegible]の[illegible]の母子保護に専任し、この[illegible]の[illegible]の[illegible]も[illegible]の[illegible]して[illegible]からは病気も死亡率も[illegible]、この[illegible]では[illegible]めて[illegible]である[illegible]へ、一方生産方面も風美はこの二期作から水稲[illegible]方法を[illegible]たりしてどうやら前途の曙光を見出し得るに至り最近六年ぶりに[illegible]かうした山にも大東亜[illegible]の[illegible]が[illegible]を許して[illegible]したのを[illegible]くしてはきけぬ[illegible]もある、[illegible]の大[illegible]の[illegible]にも[illegible]がある、[illegible]はもう少し[illegible]を見て[illegible]があればもう一層風美田を[illegible]させてもよいとの意向であるが何にしてもこの二期作は過去六年の苦心がどうやらむくいられんとするところ[illegible]行つてゐるので山全部の[illegible]は[illegible]く[illegible]の一部を果し得たとの[illegible]も大きい、時も時この十五、十六の両日[illegible]として七、八年ぶりの入山[illegible]をなして一同を[illegible]したので[illegible]も若きも男も女もあらん限りの[illegible]をつくしてこれを迎へたのである、この方面区の[illegible]である大前社のお祭りは来る二十三日[illegible]されるがその日は全国一[illegible]の[illegible]、ささやかながら六年の苦心を[illegible]んだ喜びをこのお祭りに[illegible]して全山部落民は大南に[illegible]古来の祭祀に[illegible]へて[illegible]り[illegible]年振りに[illegible]に且つ[illegible]くといふ[illegible]大きさに[illegible]いかにもこの山の喜びの大きさに比[illegible]し得るものがあるであらうか〝大地〟風美に打ち込む一歩々々が国家公と大自然との[illegible]はまだまだ続くことではあらうが……

山に咲く紅花三輪
血書で白衣の天使志願
新竹に隠れた銃後美談

【新竹電話】仲よし小よしの乙女三人組が必ず白衣の天使になつて御国の為に[illegible]しますと[illegible]を[illegible]をして[illegible]してゐるといふこれは新竹州竹南郡山地に[illegible]れた美談の一齣―話題の主人公は大東河出身[illegible]大南[illegible]の[illegible]さん[illegible]の[illegible]さん[illegible]の三名で本年三月[illegible]助手[illegible]を知ると同時に血書して志願し以来[illegible]、大[illegible]を卒して[illegible]を持ちつつ[illegible]の後八ケ月[illegible]もなく熱意を示してゐるものであつて十五日からの[illegible]に[illegible]して[illegible]今度の[illegible]には[illegible]して下さいと[illegible]つて[illegible]した、三人共[illegible]は[illegible]、和服の[illegible]しも[illegible]について内地娘と少しも違はぬ乙女であるが、殊に[illegible]さんは[illegible]さんが二十五歳も[illegible]をつとめ[illegible]では山の言葉を使はぬと云ふ立派な心掛けの人である[illegible]であ[illegible]ながら[illegible]を一言も知らずしかも日本[illegible]は[illegible]に入り[illegible]て自分は家に[illegible]を[illegible]を先に[illegible]る[illegible]である、[illegible]もたとへ[illegible]の上[illegible]がないとしてもなんとかこの三人の[illegible]を[illegible]んで[illegible]を[illegible]へてやりたいものだと[illegible]することになつてゐるのでいつか山の三人娘の[illegible]の天使が現はれることであらう(写真は血書三人娘)

地主と小作人が
増産へ一大家族
新竹に描く銃後明風景

【新竹電話】[illegible]して始めて作物もよく[illegible]の[illegible]も[illegible]であると四十数人の小作人と一家の如く[illegible]を[illegible]てひたすら[illegible]にいそしんでゐる地主がある、新竹州竹南郡[illegible]三九[illegible]氏(…)はささやかな[illegible]から身を起し現在では山林、畑、水田等二百[illegible]甲歩を所有し四十余名の小作人を使つてゐるが[illegible]、[illegible]には生活費を無利子で[illegible]し[illegible]を与へ、[illegible]の[illegible]を[illegible]十数年一日も小作人に[illegible]がないといふことだけでも有名である、小作[illegible]も[illegible]にどんどん引下げ中には[illegible]の半分だけしか[illegible]らぬ小作人も多くいづれも[illegible]して努力する[illegible]本年二期作には[illegible]の[illegible]といふ[illegible]さへ[illegible]げた程で、殊に小作人の一人である[illegible]さんの如きは年はとつてもまだまだ[illegible]かれ[illegible]と[illegible]な[illegible]に立ち三十余名の大家族[illegible]といふ[illegible]

沸る新穀感謝祭
彰化で多彩な豊年行事

【彰化電話】彰化市では大東亜戦下国民[illegible]に[illegible]して[illegible]に[illegible]るに鑑み、全市[illegible]に[illegible]を[illegible]に[illegible]しため、来る二十三日の新嘗祭を[illegible]午後二時より[illegible]化神社に[illegible]新穀[illegible]を[illegible]八時より公園[illegible]で[illegible]を[illegible]することになつたが、[illegible]

軍人援護會の　馬公部隊慰問　【臺中電話】[illegible]の[illegible]は[illegible]

御下賜金傳達式　彰東郡で厳粛に執行

【彰東電話】[illegible]では十六日午前九時から[illegible]で[illegible]に於ける[illegible]月十一日の[illegible]に[illegible]する御下賜金[illegible]を[illegible]に[illegible]した、[illegible]

中村高等法院検察官長臺南初度巡視

輝く表彰傳達式
臺南市で軍人遺家族へ

【臺南電話】臺南市では十六日午前十時半市公会堂に於て軍人遺家族の表彰傳達式を挙行、[illegible]

甦る共栄圏の姿

ジャワ貴族物語

東印度振興中央會熱帯農業研究室長　坂本益雄

文化の名残り　東印度文化の中心、[illegible]とかがやくジャワ島は他の島々とはいささか趣を異にし、千数百年来の文化を有つてゐる、吾々はジャワに旅行する時到る処に昔日の面影を見出すことが出来る、がしかし数百年このかた、西欧人に君臨せられた主要国に[illegible]れて山河在り」ここにも吾人は一掬の涙を流すに吝ではない、在りし日の文化の名残はジャワ貴族にこれを看ることが出来る、現今人口七千萬人、住民は貴族と賤民との両階級に分たれ、中流階級たるものはない、賤民は全人口の大半を占め主に農民である、これに反して貴族は全人口の三%弱に過ぎないが、往年オランダの治下でジャワを支配してゐたのは、この貴族であつた

貴族の顔觸れ　貴族にもピンからキリまである、その筆頭はスラカルタ及びヂョクヂヤカルタの王を中心とした王族で、地方長官としての住民理事官(官名はレヘント)副長格のウドノ、古参のウドノから選抜されるパテイ、副ウドノ、この外各官庁の官吏、医師などである、警部はパタピヤの[illegible]を卒業し[illegible]たものはオランダに留学したものもあつて各都市に開業、又は病院に勤務しインテリとしては主位に置かれたものであつた、住民理事官以下ウドノまでは大官であつて、総督が親しく任命し、それ以下は蘭人州理事官がこれを任命したものであつた

世襲の理事官　賤民が貴族に出世することは天にも及ばぬことで青雲の志を抱いて都に上るなどと、おぼそれた夢を描くものはなかつた、これらの貴族には昔からの階級、家柄とも称すべきものがある、内地の公侯伯子男ともいふべきもので最高は王族格のプグラン以下順次アデイパテイ、トマンゴン、ラデン・マス、ラデン以下等である、アデイパテイ及びトマンゴンは住民理事官に任ぜらるるものであつて、理事官となるものは代々これらの家柄より出るのが普通であつて多くは世襲であつた、まことに住民の最高位貴族社会の時である

傘を持つ高官　更に興味あることは、これらの高位高官の人々は、その象徴として傘を持つてゐることである、内地の雨傘を大きくしたやうなもので幾分大型丈夫に出来てゐて、外側には金箔を塗つてある、この金色の多い程がよいのであつて、傘の内側に黒色の線があつたり多様である、スラカルタの王は上が小で下が大の三重の日傘で、正式の行列をもち出すところがアラビアンナイトの古話を想ひ出さしめ、住民をして讃仰せしめるに十分である、最初なのは長さ八寸位の黄金傘を自動車の尖端にくつつけて疾駆ドライブしてゐるのである、金傘のことはジャワ語でソンソン、デイネイといふ、ソンソンは傘、デイネイは黄色の意である、これを先に述べた敬称の後につけることがある、例へば或る州理事官の敬称を次のやうにいふ、ラデン、アデイパテイ、アリヨ、ソンソンデイネイとして下に名前が記される、ラデン並にアリヨも一つの敬称である、どこの国の人でも偉い人の前等は長つたらしいものである、が、ジャワの貴族もとの態では人後におちない

男子が薄化粧　既に述べた如く今のジャワは、どうか知らないが、過去のスラカルタ、ヂョクヂヤカルタ地方、王族のたとひ[illegible]に出入する貴族達はジャワ服装を身にまとひ、年頃の男子が頭に[illegible]、みやびやかな頭巾(カインカペラ)といふを被り、何等かの化粧をして[illegible]を[illegible]らせて、小脇に短刀をさし、(クリス)を腰のやり方に[illegible]し、[illegible]を[illegible]ならを[illegible]くとも[illegible]はどうしてもこんな人間が、フロンド[illegible]の西欧人に支配されたのは一部の悪政だ

厳い階級制度　ジャワ人は階級上厳しく、階級制度は古来の慣習により[illegible]されたものであつた、近来は[illegible]となど共存して、さうともされてさはさりとも十年前ジャワを訪れた頃は、住民の階級意識は強いものがあつて、同官に[illegible]とも[illegible]となれば、帝官[illegible]にしてやうやく[illegible]の[illegible]であつた、[illegible]は[illegible]の民はスリッパを[illegible]ぎ、跪伏して[illegible]の[illegible]を[illegible]するのを[illegible]とした、[illegible]官、ウドノは[illegible]大なる[illegible]の[illegible]を[illegible]してゐるが、ジャワ人の慣例として[illegible]を[illegible]が[illegible]なことなどがいつもちやうぢやうしてゐる、これらの[illegible]は「三[illegible]には[illegible]」でなく、[illegible]は[illegible]である[illegible]出し」ではなく[illegible]したものだ、主人[illegible]は[illegible]にもしない、がしかし[illegible]の[illegible]この辺から[illegible]のいろいろな[illegible]を[illegible]してゐる、下級官吏の生活は決して、どんな豪奢なものではないが、それでも[illegible]を[illegible]してゐる、一般にかれらは[illegible]から[illegible]をもらつてゐるだけに多分に[illegible]化して居つた

信仰復活のビルマ

多年英国の[illegible]に苦悩した[illegible]ユニオン・ジャツクの旗幟は一朝にして地に伏した、[illegible]の自由にさへ[illegible]を[illegible]英の行政方針に[illegible]の[illegible]つも[illegible]を見せねばならなかつたビルマ[illegible]は[illegible]の[illegible]

大麻頒布式　臺中で厳粛挙行

【臺中電話】神宮大麻頒布奉告祭並に頒布式は十六日午前十時州正庁に於て市長、郡守、街庄長、各官衙、銀行、会社代表及び神職等百余名参列して厳かに挙行、[illegible]

恒春の貯蓄懇談会

【恒春電話】[illegible]

今年度香天田改良準備工作全く終了

【[illegible]電話】[illegible]

櫻川刀自の　育英七十年記念

【宜蘭電話】[illegible]

新理蕃課長　西村元保安課長専任

【臺北電話】[illegible]

伸ばせ愛の手！
嘉義市で社會事業強化

【嘉義電話】二十日の社会事業記念の[illegible]に[illegible]、嘉義市方面委員、助成会[illegible]

青木州産業部長　嘉義市で視察や座談會

【嘉義電話】青木州産業部長は十七日午後四時嘉義着、[illegible]

軍人援護と方面委員會

【彰化電話】[illegible]

熱地農業講成終了

【臺北電話】[illegible]

ゼネラルカーボン紙
ミカドカーボン紙
清水大氣堂

"健民コース"の名稱募集　【臺北電話】新竹州[illegible]

赤誠の獻金

軍司令部(十七日)

國防獻金　[illegible]

恤兵金　[illegible]

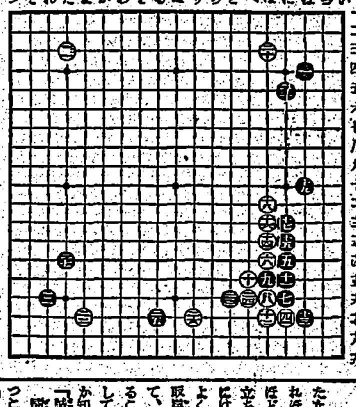
獻品　[illegible]

お山で蔬菜の栽培

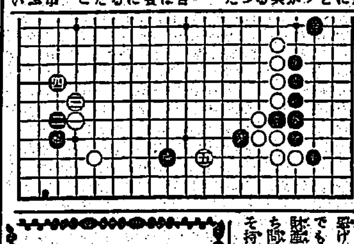
牟田氏州會議員に任命

七段対五段 [illegible]

(第一局ノ三)　七段 吳清源　五段 長谷川章



下邊の風雲急



参考図

愛の赤道 (247)

竹田敏彦　部竹伸一畫

常夏の島 (十二)

[illegible]

第三回司法保護事業大會記念公演
タイヘイレコード專屬
井田照夫一行
三十餘名大擧來ル
音樂 舞踊 歌謠曲
十一月十八日 晝夜二回
基隆劇場
一日限り晝夜二回　ナシ延日割引

日本國防經濟史話
先覺者の南方經營
蒲生君平の山陵志
支那近世史要
聖戰短歌選
雨夜夢話
愛國詩集
日本放送出版協會

お馴染の孫悟空大暴れ！楽しい一時間半の夢の世界
長篇まんが 西遊記
松竹台劇 18日封切
娯楽と智識を満載した御家族週間
お父様へお母様へ可愛い御子達のおねだりを聞いて上げて下さい
全世界を驚倒したパレンバン大戦果の蔭にこの血涙の猛訓練！陸軍落下傘部隊はこうして生れる
空の神兵 全七巻
陸軍航空本部監修 日本映画社製作 文部省推薦

同時上映 芳乃館
入江たか子・東屋三郎の珍しき顔合せ
愛と涙と悦び！東寶が誇る！感激の大作です
母は死なず
明けゆく日本の胎動に生きる父と子の愛情起伏ぞ美しくも尊し
東寶映畫超特作
紅系 18日封切
東寶直營 國際館
勝抜け！經濟、思想戦！

お坊ちやん・お嬢ちやん・お父さん・お母さん一家御揃樂しみ週間
西遊記
空の神兵
全七巻
わが落下傘部隊の闘志！闘魂！ここに宣揚さる
今週ニ限リ正午ヨリ三回興行
全館均一 80せん 税共
大世界